

天保5?新米穀取扱ニ付お触書 (関東取締出役より)

(無表紙) 冊

p 1

此度関東筋国々米穀之義ニ付御触有之右

御趣迄為教諭追々廻村いたし候間兼テ御触之通り

相心得左之ケ条案文之通可被書出候

一、村限り新穀出来迄之夫食を引余り之分米麦

新穀売ニ可相成分書出可申候

一、身元相応之者窮民為救之困穀可書出候

一、在々宿町穀商人共方より買貯所持之米麦

雑穀共諸事高可書出候

一、川々河岸之間屋共方江江戸廻米之心得津出シ

p 2

有之売米高可書出候

但武家方廻米高も有穀は可書出候

一、貧民多夫食引足不申場所は可成丈ケ

有福之者所持を融通いたし遣候向は助合

其余之手当無之買入方差支候向は早々可申立候

一、有福之者共貧民救助力呉遣候金錢米穀高

亦是貸錢高可書出候

一、穀商人共夫々宿町ニおいて空米売之博奕

同様之勝負いたし米穀直段引上ケ貧民

難儀相成候風聞有之不届ニ付召捕可差出

候旨従 御奉行所御沙汰ニ付厚申諭置候

右之趣御改革組合大小惣代より御触之趣

村々得と申諭早々取調置別紙案文之通り

村々得と申諭早々取調置別紙案文之通り

達次第無遅滞若御触之趣不取計之

もの有之候ハ、早速惣代共より我等廻村先へ

可申越候尤売米之分安直段ニて為売拂候

筋等は聊無之売ニハ成丈ケ手広ニ勝手

p 2

次第二候得共江戸表は勿論在々之内ニも夫食

引足不申場所有之万一貧民渴食ニおよひ候次第

無之ためニ米穀之員数取調米価引下ケ

一統安心穩ニ家業いたし候様との

御仁恵筋之御取調方ニ付村役人は勿論

小前之者共不正之筋聊無之正路ニ申合

奇特之心を相互ニ心掛貧民を救成丈ケ

夫食喰延余之分売買いたし高直ニ不相成

様可取計候且御触之義は領主地頭より

相触承知之事ニは候得共猶写相廻候て此廻状并ニ

案文等御改革寄場宿役人写取受印

いたし昼夜刻付早々順達いたし其上

組合村々より相触寄合成丈差急別条之趣

可取調候廻状は留より追て可被相返候以上

関東向御取締出役

山本大膳手代

堀井与四郎 印

河野祐介 印

p 3

豆(□) 嶋郡

内藤新宿

荏原郡

p 4 0080

御触写

去巳年陸奥出羽稀之違作ニ付江戸廻米無之
右両国は場所寄り飢渴之者有之趣風聞世上
相響米穀困持も人氣押移利潤之ためニ不埒之
売買共いたし候哉ニて江戸表はもちろ在々迄も
米□高直ニ成末々之者共可及難義ニ候ニ付関東筋
国々之義米麦雜穀共其村町限役人共より村改
小前所持之分夫々家内人別ニ引合当年新穀出来
迄之手当を殘し置其余之分は持主^限り最寄り

市場町江売捌亦是江戸廻しいたし地廻米問屋并
脇店米屋共江利捌在々穀類商売之者共
たり共相当之買持候義不致其土地凡之
弁用を見積り其余之米穀早々江戸廻上前書
之通り売捌方可致候右ニ付売買并津出し
廻船等相互ニ正路ニ可致は勿論ニ候得共別て無之様
速ニ可取計候若妨候類之者有之候ハ、早々
可訴出候

p 5 0081

一、身元相応之もの共銘々心得を以窮民を救ひ候
ため米麦雜穀困置候有之候ハ、右は別断之
義ニ付名前石数等御領は御代官私領は領主
地頭より早々申立置候様可致候

一、右ニ付ては追て役之者差遣義も可有之候■併

前書之次第は差懸り候義ニ付心得違之もの
無之様為教諭之兼て関東在々廻村いたし候
御代官手附手代等此節より相廻候筈ニ候

右之通り関東筋国々領分知行有之面々江
可被相触候

午

正月

了

(裏表紙 白紙)

令和3年12月19日 釈文ス